

サ花的苑タイムズ

各種作品コンクールにエントリー

ご利用者 塗り絵・短歌など

高崎市の苑ではこのほど、みんなの健康プロジェクト『第六回明治安田大人の塗り絵コンクール』に健康寿命の延伸を目的とした同プロジェクトの趣旨に賛同し、参加の申請を行いました。同コンクールは群馬県



令和7年7月15日発行
第130号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211
社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

続報「夏野菜栽培プロジェクト」

猛暑続きの中、例年になく苦戦
苑内三か所で行っている「夏野菜栽培プロジェクト」は、記録的連続猛暑の影響を受け、職員、利用者様による水やり等の懸命な管理にも拘わらず、現在苦戦を強いられています。



特にキュウリ栽培では、入梅時期に雨が少なく、給水が追い付かない状態が続いたため、葉が

果に失敗しました。各プロジェクトでは、自然を相手にしたこうした貴重な経験を今後に残り少ない期間を最大限楽しんでいくとしています。



いるものです。当施設では、これまで苑内で塗り絵作品展を実施してきた実績を踏まえ、参加を希望したもので、現在10名の利用者様がエントリーし、作品製作の準備を行っています。この他、宮崎県社会福祉協議会が主催する「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」に、一号館ご利用者が白寿を迎えられた自らの心情を歌った短歌作品を応募しました。



●「選択ランチが人気」
H1ユニットではこのほど、天ぷらと煮魚を昼食時に選んでもらうランチ選択イベントを行いました。以前行なった選択おやつが人気だったのを受けての開催。

●「記念の居酒屋レク」
BCユニットでは父の日の記念行事として「居酒屋レク」を実施しました。その昔、お父さんたちが仕事から解放されて暖簾をくぐって通った飲み屋をイメージし、ノン



雑感手帖

加藤 和昭

最近目にした調査報告書の中で、有給取得率は65%と記載がありました。欧米先進国では90%を超えるとのこと。

有給取得率は、「取得した有給数」÷「付与された有給数」で算出されますが、大企業ならともかく、中小企業まじりでは介護業界においては取得率50%台です。

その中で業態さらには職種によって違いもありますが、利用者へ直接処遇にあたる職種は極めて人手不足で、有給の取得は後ろめたさを感じると思います。休めば他の職員が出勤する必要がある、しわ寄せが生まれます。では簡単に人員増加すればよいと言えます、事業は人件費率が高まり立ち行かなくなります。今の時代は有給の取得が推奨されていますので、法律がアップデートされない介護事業は体になっ

勤続年数が増えれば有給も増えます。6年半で20日間付与されます。これは労働基準法では最低限です。取りたくても取れない、これが現実なのだと思います。従業員視点で考えれば、転職すればよいと考えがちですが、それは流動的にならないのは休みにくいけど踏ん張って働き続ける人が多いから。この業界ではどこへ行っても一緒、今現在がまだまし、との思いでいる気がします。現場レベルの工夫以外に根本的に解決するには、法改正しかないと感じます。日本人は働きすぎ、もつと有給取得をし、でも労働生産性は高まる、との声。人口も減っています、それは私が考えることではないので、悲観せずに毎日やることをやっています。(施設長)



七夕行事を各ユニットで開く 願いごとを短冊に託して

日本の伝統行事「七夕まつり」は織姫と彦星の伝説に基き、願いごとを短冊に書いて竹に飾ることが特徴です。各ユニットでは七月七日を中心に、それぞれ独自の工夫で七夕飾りを行い、記念の行事を行いました。



このうち一号館ASユニットでは、七月六日(日)に開催。この日は午前中から杏仁豆腐とブ

多彩な工夫で記念行事楽しむ
七夕ゼリーやミニゲームも



トでも記念イベントを実施し、それぞれ利用者様の願い事を短冊に記帳して竹に飾り、記念撮影など行い、七夕イベントの思い出を刻みました。



ユニットたより

「餃子作りで祝賀」

今年の六月は例年になく本格的な夏を思わせる連続真夏日の中で迎えました。ASユニットのホールから見える田んぼには、いつになく太陽の光が容赦なく照らしています。

そんな中で迎えたASユニットの「父の日」記念イベントは、男性利用者様からもリクエストがあり、この暑い夏を乗り切るためにマッチした餃子パーティーの開催。



今回はASの男性職員が中心となり、気合を入れて準備しました。自宅で奥様からレクチャーを受けたうえでこの日に臨み、その成果で美味しそうに焼き色が付いた餃子が出来上がりました。

男性利用者様を中心に餃子作りを召し上がって頂いた後、職員が手作りの父の日のメッセージカードをお渡しすると、皆さん照れながらも大変喜んでおられました。

ユニットの皆さん、餃子のニンニクパワーでこの酷暑を乗り越えましょう！

(A・Sユニット U)

「父の日に感謝！」

E・Fユニットでは六月父の日の当日、「父の日感謝行事」を行いました。母の日と比べ、適切な感謝の言葉に迷ってしま



う父の日。冒頭、この日の職員の挨拶は「今日は父の日です。今までお仕事お疲れ様でした！」との今一つ実感のない言葉で始まりました。

とは言え、現役時代に話を戻せば、長い間、家族のため、社会のためにむしやに働き、社会に貢献してこられたお父さん方、大変ありがとうございます！

という訳で、行事が開始。最初に「プレゼントがあります！」と伝えると、女性利用者様から「わーい！」と拍手。すかさず「今日は男性だけです」と話すと笑いが広がります。



した。

沢頭さんに膝かけをプレゼントすると「これは何だい？」と。職員が夏の膝かけと説明するも、ストールのように肩にかけてニコニコと。それを見た女性利用者様が「いいねー、あったかそうだよ！」こんなやり取りの場面がありました。

この日はまた、数種類のケーキを用意し、男性利用者様から順に選んで頂きました。大好きなケーキを食べながら、歓談がまた一段と進んでいました。

(E・Fユニット K)

「父の日喫茶で祝う」

H・Iユニットの「父の日」を記念した六月行事では、珍しく男性利用者様からの要望を基に「父の日喫茶」を行いました。

「本当はタバコを吸いたいけど、体に悪いから、苦みがあつて美味しいコーヒーが飲みたいよ」との言葉を受けて、本格珈琲に拘った職員が再びユニット内で喫茶を開店。



「これだよ、これ！」と美味しそうにブラックコーヒーを堪能された男性利用者様。ホール一杯にコーヒーの香りが漂い、さながら落ち着いた大人の喫茶店が登場したようでした。

この日は、付け合わせとして手作りプリンとフルーツが用意され、このうちフルーツは好きなものを好きなだけ取ってもらう方式にしたところ、皆様も楽しんで選んでいました。

今回はお父さんたちが主役ということで顔写真入りのメッセージカードをお渡ししたところ、照れながらも大変喜んで貰えました。

(H・Iユニット K)

ユニットたより

「昭和の名曲で祝賀」

Dユニットの六月行事では、このほど満百歳となられた浅賀ヤスノ様の祝賀記念イベントを行いました。ユニット皆様とともに長寿の祝意を伝えました。

記念イベントは、苑内のウクレレバンド「たんぽぽ」のメンバーが「上を向いて歩こう」「青い山脈」など昭和歌謡を中心に演奏し、ウクレレの音色に合わせて皆さんが元気に唄いました。

浅賀様はイベント開始前、せっかくだからと誕生



生いプレゼントのお洋服に着替えられて出席し、演奏が始まるとウクレレの音色に聞き入っておられ、時折涙ぐむ姿も見られました。

また歌が大好きな村上様、宮本様、箱田様などは体でリズムを取り、この日の懐かしい曲を口ずさみながら皆様と共に歌声イベントを楽しんでいました。

(Dユニット A)

「力合わせ季節行事」

Gユニットの六月行事は、季節にちなみ「アジサイの壁画作り」を行いました。

紫や青、ピンクなど色とりどりの色画用紙をアジサイの花びらに見立て細かく切り、糊で貼り付けて、という細かい作業でしたが、皆様黙々と取り組んでおられました。

「ここはピンクがいいよね」「もう少し紫色が多い方がきれいだね」と皆で相談されながら花びらが完成。葉の部分は色鉛筆で塗っていただきました。

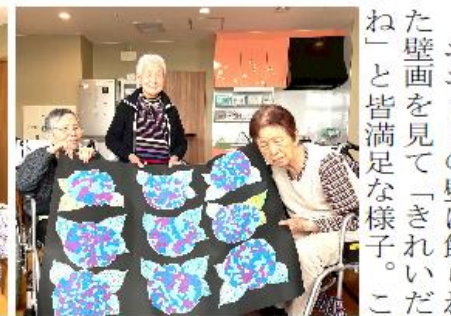
その後、でき上がった数枚のアジサイの花を模造紙に置いていく作業。バランスや見え方など配置がなかなか難しかった



色とりどりのアジサイ壁画 季節の壁飾りを皆で製作

ようで、「もう少し上げたほうがいいよね」「ここを少し重ねたほうがきれいじゃないかな」と悩んだり、距離を測りながら眺めたりし、皆真剣そのものでした。最後に模造紙に貼り付け、何とか完成しました。

ユニットの壁に飾られた壁画を見て「きれいだね」と皆満足な様子。こ



カメラスケッチ

展望花の丘の今をウオッチ。3千本の向日葵が開花目前にスタンバイ！



委員の一言メモ

★うどんブームの中、富岡にも某うどんチェーン店が八月出店。今から楽しみです(由) ★近所にネムの木が綺麗な花を咲かせ、散歩しながら癒されています(怒) ★今年も大家さんから茄子と胡瓜とじゃがいもを頂き、物価高の中、大変有難いです(彩) ★旅行先で思いがけず赤ちゃん猿を見かけ、あまりの可愛さに感動！(広) ★連日の暑さの中、それでも洗濯好きの私は、数時間でカラカラに乾く夏が一番好き(山) ★通販で自転車を買い換えました。組み立てた状態で到着。便利なの世の中、有難いです(貴) ★梅雨らしくない天気が続き迎えた七夕。星が見えるかと思いきや夜には曇ってしまい残念。旧暦の七夕の方が見えやすいのだとか(美) ★収穫までの経験と成果を共有する夏野菜栽培PJ。ならば、異常気象とはいえず、栽培失敗も楽しい経験の一つ。挑戦は続く(井)

満百歳祝賀イベント開く 長寿を祝い皆で昭和歌謡